

各種職業に見られた皮膚疾患. ゴム, 農薬, 草, 塩素ホルマリン, ネオラスター, カヤメック, ニトログリセリン 藤田英輔, 小林 隆 (山口大)

当教室皮膚科外来において, 発病原因として, 職業上の物質が主役を演じていると考えられた数例を報告した. 1) 55才男, 農夫の接触性皮膚炎. 原因は田で使用するゴム長靴. 2) 45才女, 農夫の顔, 頸, 胸, 上肢に生じた瀰漫性紅斑, 原因は農薬モンゼット. 3) 46才女, 主婦の顔, 手に生じた接触性皮膚炎で, 原因は家庭菜園の八重むぐら. 4) 47才女, 糊製造工の手の貨幣状湿疹, 全身の痒疹, 口囲の脂漏性湿疹型発疹. 原因は糊

中のホルマリンと香料。5) 45才男, 塗装工の前額, 項, 手背に生じた落屑性紅斑。原因は塗料ネオラスター。6) 27才男, 合成樹脂工場の工員。上肢の急性湿疹で, 原因は重合中間産物カセメック。7) 28才女, 火薬工場の工員で, 頸, 胸の乾燥症様発疹, 原因はニトログリセリン。以上の症例は, 症例2, 3, 4, 5, 6においては貼布反応が陽性で, 全症例ともに, 原因との接触をさけることにより治癒させることが出来, 又, 再発を防止し得た。

---